



キク編

病害虫注意報 2021年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

高温期です！立枯れ症状、ハダニ類にご注意ください！

高温期はアザミウマ類、チョウ目類も同様に多発しやすいため、定期的な薬剤防除を行いましょ。

立枯れ対策には定植前の粒剤、もしくは薬剤の灌注を行いましょ。

※花き類・観葉植物登録

登録内容	薬剤名	希釈倍率・使用量	処理方法
立枯病など	リゾレックス水和剤※	500～1,000倍 3L/m ²	土壌灌注(生育期/5回)
立枯病(リゾ外ア菌)	ユニフォーム粒剤※	18kg/10a	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
発根促進	タチガレン液剤	1,000倍 5～10L/m ²	土壌灌注(挿し芽直後/1回)

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。 ※花き類・観葉植物登録

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・倍率	使用時期	回数
定植時	白さび病	inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	オオハコガ・ハシモントウ	プレオフロアブル※	1,000倍	発生初期	4回
	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	アワダシソウ・アザミウマ ミカンキイロアザミウマ・ハダニ類 オオハコガ・ヨトウムシ類	コテツフロアブル 卵(ハダニ類)にも効果あり	2,000倍	発生初期	2回
	ハダニ類	ペンタック水和剤※	1,000倍	-	-
発蕾時	白さび病・アブラムシ類 アザミウマ類・ハモグリバエ類	ハチハチ乳剤	1,000倍	発生初期	4回
	ハダニ類	スターマイトフロアブル 卵にも効果あり	2,000倍	発生初期	1回
破蕾時	アブラムシ類・アザミウマ類	トランスフォームフロアブル	2,000倍 アザミウマ類:1,000～2,000倍	発生初期	3回
	ハダニ類	カネマイトフロアブル 卵にも効果あり	1,000～1,500倍	-	1回

灌注処理にプラス1！

ファイトオーツ

1,000倍 灌注処理

同時灌注で効果アップ☆

- ▶ 抵抗性誘導物質の向上
- ▶ 毛細根の充実
- ▶ 徒長防止



肥料登録 生第83241号

高温対策に！ 効果は約1か月

すずみどり

香り成分で、葉焼けや萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上
ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10～20錠

